

【お知らせ】曝気設備を稼働しました

令和2年5月7日より曝気設備を稼働しました。



(写真) 稼働前の湖面状況(R2.4.27)



稼働後の湖面状況(R2.5.8)

- ※ 設備直上の湖面に水紋が認められます。
- ※ 毎年、気温および水温が上昇するこの時期から、ダム貯水池及び放流水の水質を保全するため、運用しているものです。

設備の概要

水没式複合型曝気装置

日吉ダムでは、深層曝気装置に浅層循環機能を付加した複合型曝気装置を2基設置しています。従来型の深層曝気装置は、装置内部で使われなかった余剰空気を、排気ホースを介して大気中に排出していましたが、これを浅層曝気として有効利用できるよう改造したものです。

○浅層循環機能

春季から夏季にかけての貯水池は、表層が温められ、冷たいままの下層との間には水温躍層と呼ばれる混合しにくい部分ができます。装置上部から出る気泡により貯水池内に水の循環を起こし、温かい水と冷たい水を混合させることで水温躍層を下げ、取水深を低下させた際の冷水放流の影響を緩和します。

○深層曝気機能

夏季は貯水池の水が循環しにくいため、底層の水はどんどん酸素が消費されて酸欠状態になります。この水を装置下部から取り入れ、酸素を溶け込ませて再び底層に戻すことで、硫化水素や無機態リン等の発生を抑制し、ゲート放流時の硫化水素臭の発生を防ぎます。

